

2023年度 児童発達支援 自己評価 集計結果



公表日: 令和5年12月21日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓		・使用できる部屋数と利用者の人数を考慮して、時間の調整や課題の内容に合わせて仕切りを移動させる等、広さを工夫している。	・利用者の時間帯や内容(調理等)が重ならないように情報共有の徹底をしていく。 ・一部のスペースは狭さを感じるため、教材等の整理をし、空きスペースを確保していきたい。
	2 職員の配置数は適切であるか	✓		・体調不良等で職員がやむなく休んだ際は、空いている職員での対応や振り替え等にて、保護者の方に協力をお願いしている。 ・職員同士で連携を取り合い、各々の空いている時間を活用して準備、片付け等を協力して行っている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	✓		・利用者に合わせて毎回同じブースを使うようにしている。 ・絵カード、写真を用いてスケジュールや課題を伝えている。	・医療的ケア児、車いす利用者等の対応については、都度事務方と打ち合わせをしていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	✓		・日々の清掃にて清潔を保つ。 ・課題によってパーテーションを移動させることで、空間を確保している。	・教材の整理とともに空きスペースを確保していく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	✓		・日々の打ち合わせ等にて、当面の業務の取り組みについて職員間で共有するようにしている。 ・他事業所とは、メール等にて情報の共有を図っている。	・重点して取り組む課題等について、職員間で共有して取り組めるよう明確化していく。 ・課題等に関して、さらに広く職員に意見を求めている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓		・個別の面談時、保護者の意見の聞き取りとともにカンファレンス用紙の提出をお願いしている。 ・日々の療育の報告時にも情報の共有を図っている。	・意見を個人的な問題にせず、全体で共有して改善へと繋げていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓		・都度ホームページにて公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		✓	・療育面では、臨床心理士のスーパーバイズにより、事業所内の利用者への対応や環境設定等について適宜アドバイスを頂いている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓		・3か月に1回の臨床心理士によるスーパーバイズや、月1回の事業所内研修を行っている。外部研修等も参加出来るように調整している。	・今後も、各自関心のある外部研修の受講を積極的に勧めていく。 ・職員の意向を受け止めて内部研修へと繋げていく。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	✓		・保護者との日々のやり取りや半年ごとの面談で、ニーズや課題について話し合い見直しを行っている。	
	11 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓		・発達検査等の結果とともに事業所内のツールを活用している。	・定型化した情報はインテーク時のものであり、担当変更時の引継ぎ時の参考には不十分であると思われるため面談時等定期的に更新していきたい。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	✓		・支援内容作成には、適宜ガイドラインを参考にしている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	✓		・日々の支援にあたっては、支援計画を見返しながら取り組んでいる。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓		・具体的な内容決めや打ち合わせ等は職員間で共有しながら取り組んでいる。 ・複数名で担当している利用者場合は、必要に応じて確認を行い、また、他の職員からのアドバイスも求めながら支援を行っている。	・グループ活動では、反省点を含め、年間のスケジュールの作成について職員間でさらに検討をしながら進めていく。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓		・調理や工作、運動などを積極的に取り入れている。 ・日々のプログラムでも季節感を感じられるようにしている。	・今後もいろいろな課題を提供することで経験の幅を広げていけるように、特性や希望等に配慮しながら丁寧な対応をしていく。
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	✓		・同学年程度の利用者同士でカードゲームをする等、一緒に取りくめる課題を設定している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓		・毎朝始業時に打ち合わせを行い、一日の流れや利用者についての情報共有をしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	✓		・毎日終業時に打ち合わせを行い、利用者の様子や保護者からの情報を共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓		・毎回支援記録を作成し、次の課題設定につなげている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	✓		・年に2回個別面談を実施し、計画の見直しを行っている。 ・日々の療育や保護者とのやり取りの中で見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓		・担当職員が会議に参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	✓		・保護者を通して行っている。 ・必要に応じて関係機関と連携している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	✓		・現在医療的ケアを必要とする利用者はいないが、今後は必要に応じて対応していく。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか	✓		・現在医療的ケアを必要とする利用者はいないが、今後は必要に応じて対応していく。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓		・保育所等訪問支援や保育園の職員の方に療育を見学していただき、情報共有を行っている。 ・適宜状況に応じて対応している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓		・日々の療育の中で保護者と情報共有や連携を図っている。 ・必要に応じて情報を提供している。 ・保育所等への訪問を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓		・適宜必要に応じて各機関と連携をとっている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	✓		・夏休みのイベントやコンサート等で地域の子ども達と活動する機会が設定されている。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	✓		・海老名市の自立支援協議会等に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓		・日々の療育後や定期的な面談時に本人の状況を伝え合い、情報の共有を図っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	✓		・法人内の他事業所で相談支援を行い、情報共有を行っている。	・ペアレントトレーニングの意義や内容等概要についての研修を設定し、職員間の共通理解に努めていく。

		チェック項目	はい	いいえ		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓		・契約時や改定時に説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	✓		・支援計画作成に当たっては、適宜内容の確認をしながら同意を得るようにしている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓		・日々の療育時や電話等にて都度対応をしている。 ・また、個別面談や、専門職による相談を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓		・茶話会などで保護者同士が関わる機会を設けている。 ・保護者が関わるイベントに参加している。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓		・申し入れ等の受け入れ態勢は整備され、実際の申し入れ等に対しては適切に対応している。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓		・療育だよりやメーリングリストで情報を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	✓		・取扱いについては十分に配慮する等各職員にも周知を徹底している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓		・絵カードや写真を使用して情報伝達を行っている。 ・保護者に対しても分かりやすい内容にする工夫をしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓		・コンサートや各種イベントへの参加の機会を設けている。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	✓		・避難訓練や防災グッズの内容点検は、定期的に行っている。 ・各種マニュアルをファイリングし、閲覧できるよう設置しており、必要に応じて、リニューアル等をしていく。BCPについては現在作成中である。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓		・定期的に避難訓練を実施している。	
	43	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	✓		・初回面談時に聞き取りを行っている。 ・日々の保護者等とのやり取りを通して情報交換をしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓		・初回面談時に聞き取りを行っている。 ・日々の保護者等とのやり取りを通して情報交換をしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓		・事例集は作成されている。	・基準の設定や活用の仕方については職員間で検討していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓		・委員会を設置して、適宜開催している。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	✓		・契約時や定期面談の際に説明をし、必要に応じて支援計画への記載をしている。	

2023年度 放課後等デイサービス 自己評価 集計結果

公表日：令和5年12月21日



		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
体制・ 環境・ 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			・使用できる部屋数と利用者の人数を考慮して、時間の調整や課題の内容に合わせて仕切りを移動させる等、広さを工夫している。 ・利用者の時間帯や内容(調理等)が重ならないように情報共有の徹底をしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	✓			・体調不良等で職員がやむなく休んだ際は、空いている職員での対応や振り替え等にて、保護者の方に協力をお願いしている。 ・職員同士で連携を取り合い、各々の空いている時間を活用して準備、片付け等を協力して行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	✓			・利用者に合わせて毎回同じブースを使うようにしている。 ・絵カード、写真を用いてスケジュールや課題を伝えている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	✓			・日々の打ち合わせ等にて当面の業務の取り組みについてスタッフ間で共有するようにしている。 ・他事業所とは、メール等にて情報の共有を図っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓			・個別の面談時に保護者の意見の聞き取りとともにカンパレンス用紙の提出をお願いしている。 ・日々の療育の報告時にも情報の共有を図っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			・都度ホームページにて公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			✓	・療育面では臨床心理士のスーパーバイズにより、事業所内の利用者への対応や環境設定等について適宜アドバイスを頂いている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			・3か月に1回の臨床心理士によるスーパーバイズや、月1回の事業所内研修を行っている。外部研修等も参加出来るように調整している。 ・今後も各自関心のある外部への研修は、今後も積極的に勤めていく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			・保護者との日々のやり取りや半年ごとの面談でニーズや課題について話し合い見直しを行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			✓	・発達検査等の結果とともに事業所内のツールを活用している。 ・定型化した情報はインテーク時のものであり、担当変更時の引継ぎ時の参考には不十分であると思われるため面談時等定期的に更新していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			・具体的な内容決めや打ち合わせ等は職員間で共有しながら取り組んでいる。 ・複数名で担当している利用者の場合は、必要に応じて確認を行い、また、他の職員からのアドバイスも求めながら支援を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓			・調理や工作、運動などを積極的に取り入れている。 ・日々のプログラムでも季節感を感じられるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓			・利用者の様子に合わせて設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			・同学年程度の利用者同士でカードゲーム等一緒に取りくめる課題をも設定している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓			・毎朝始業時に打ち合わせを行い、一日の流れや利用者についての情報共有をしている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善 目標
適切な支援の提供	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	✓			・毎日終業時に打ち合わせを行い、利用者の様子や保護者からの情報を共有している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			・毎回支援記録を作成し、次の課題設定につなげている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓			・年に2回個別面談を実施し、計画の見直しを行っている。 ・日々の療育や保護者とのやり取りの中で見直しを行っている。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	✓			・支援内容作成には、適宜ガイドラインを参考にしている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓			・担当職員が会議に参加している。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	✓			・適宜状況に応じて対応している。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			✓	・現在医療的ケアを必要とする利用者はいないが、今後は必要に応じて対応していく。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	✓			・状況に応じて就学前の利用機関との連携を行っている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			✓	・必要であれば行うが、今の所経験はない。 ・状況に応じて情報提供を行っていく必要がある。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓			・必要に応じて対応している。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	✓			・夏休みのイベントやコンサート等で地域の子ども達と活動する機会が設定されている。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	✓			・海老名市の自立支援協議会等に参加している。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓			・日々の療育後に本人の状況を伝えあって情報の共有を図っている。 ・定期の面談時にも状況の伝えあいを行っている。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	✓			・法人内の他事業所で相談支援を行い、情報共有をおこなっている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善 目標
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓			・契約時や改定時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			・日々の療育時や電話等にて都度対応をしている。 ・個別面談や電話・メールでの相談にも応じている。 スーパーバイザー(臨床心理士)にて支援を行うなど必要に応じて法人内の心理士に繋いでいる。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓			・茶話会などで保護者同士が関わる機会を設けている。 ・保護者が関わるイベント等に参加するなどしている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			・苦情や申し入れ等の受け入れ態勢は整備され、実際の申し入れ等に対しては適切に対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓			・療育だよりやメーリングリストで情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	✓			・取扱いについては十分に配慮する等各職員にも周知徹底している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			・絵カードや写真を使用して情報伝達を行っている。 ・保護者に対しても分かりやすい内容の工夫をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓			・コンサートや各種イベントへの参加の機会を設けている。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓			・避難訓練や防災グッズの内容点検は、定期的に行っている。 ・各種マニュアルをファイリングし、閲覧できるよう設置しており、必要に応じて、リニューアル等をしていく。BCPIについては現在作成中である。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			・定期的に避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			・委員会を設置して、適宜開催している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	✓			・今現在、該当者はいないが、今後やむを得ず身体拘束を行う場合については組織による決定と個別支援計画の記載をし、本人・保護者へ説明をしていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	✓			・初回面談時に聞き取りを行っている。 ・日々の保護者等とのやり取りを通して情報交換をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	✓			・ヒヤリハットの事例を職員間で共有し、改善策を迅速にとるようにしている。